

住民意見交換会資料（新治小学校体育館）

1. 新治小学校に関する学校再編案

○新治小学校と本納小学校を統合する。【優先順位 1】

使用校舎	現本納小学校	校 名	本納小学校
備 考	・将来的には新しい小学校を建設し、豊岡小学校も統合する ・通学手段の確保		

2. 審議会での主な内容

- ・新治小は速やかな対応が必要。1クラス数人では授業も行事も支障が生じる。
- ・新治小と本納小を統合しても適正規模に満たない。3校統合すれば適正規模になる。
- ・本納小、新治小、豊岡小はどれも校舎が古く、将来的には新しく学校を建設すべき。
- ・スクールバスなどの整備は必須である。
- ・新治小と豊田小の統合も考えられるが、中学校進学のことを考えると本納地区内での統合が良い。
- ・本納地区から小中学校をなくすことはできない。
- ・本納中との小中一貫校、小中一貫教育についても検討してはどうか。
- ・本納小の崖が懸念事項だが、十分安定しているという調査結果が出ている。
- ・本納小のプールについては、再編の有無にかかわらず対策を検討する（事務局より）。
- ・まずは新治小を本納小に統合し、将来的に3校統合するという二段階が良い。
- ・使用校舎は、使用できる教室数などを踏まえ本納小とする。

3. 茂原市立小中学校の適正規模（平成27年3月教育委員会会議で決定）

小学校 12学級以上18学級以下（1学年2学級～3学級）

中学校 9学級以上18学級以下（1学年3学級～6学級）

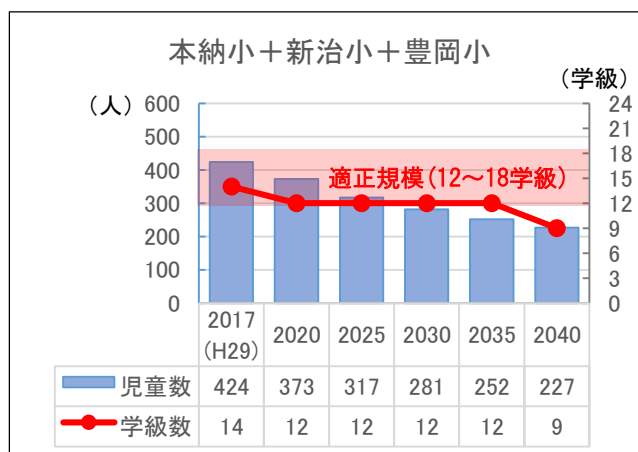
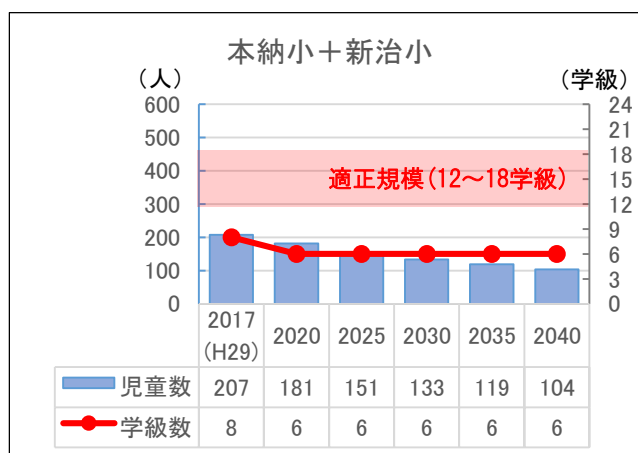
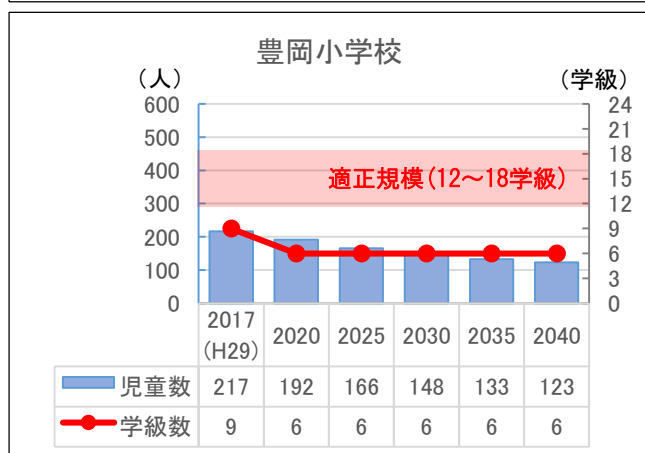
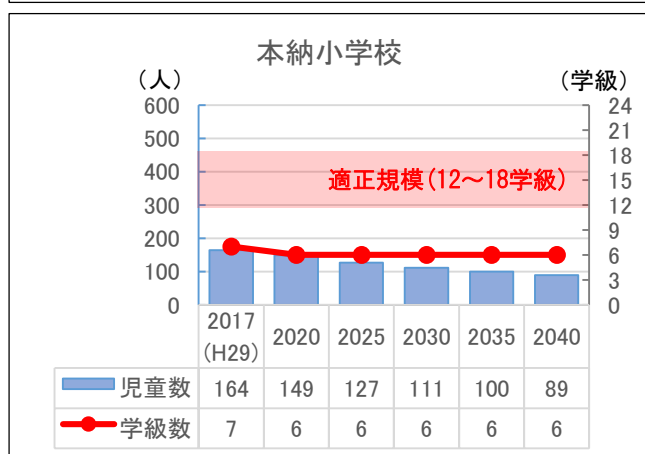
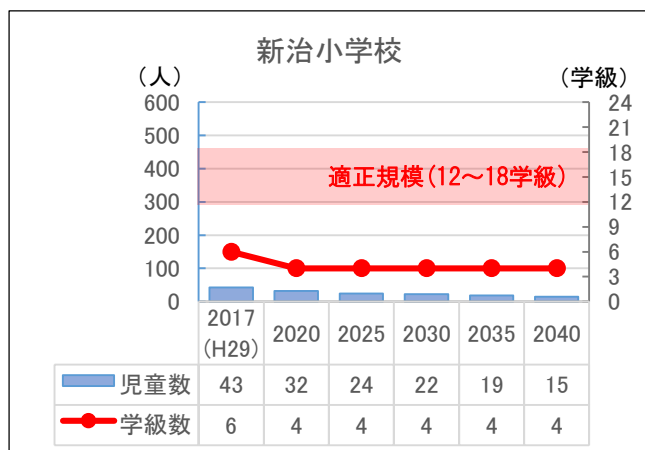
※普通学級の学級数を基準とする。

4. 学校規模ごとの基本的な方向性（基本計画より抜粋）

○小学校

全体の学級数	文部科学省手引の抜粋	基本的な方向性
1～5学級	・複式学級が存在 ・一般に教育上の課題が極めて大きい	・速やかに統廃合する
6学級	・クラス替えができない ・児童数に大きな幅があり、少ない場合は特に課題が大きい ・更なる小規模化の可能性なども勘案	・今後児童数の増加が見込めなければ、速やかに統廃合する
7～8学級	・1つ又は2つの学年を除きクラス替えができない ・全体の児童数なども勘案	・今後児童数が減少し単学級となる見込であれば統廃合を行う
9～11学級	・半分以上の学年でクラス替えができる ・全体の児童数なども勘案し課題を整理	・統廃合や学区の見直し等、適正規模に近づける方策を検討する
12～18学級	【適正規模】	

○児童数の推計



※学級数(普通学級数)は、平成 29 年度の千葉県基準により、小 1～小 3 は 35 人学級、その他は 38 人学級で計算。また、2020 年以降は全学年同人数と仮定して推計している。